

中郷地区防災計画

2022年10月

(令和4年10月)

はじめに

鴻巣市は、荒川、利根川の二級河川による洪水のリスクがあり、台風などによる風水害に注意を払う必要があります。また、東京湾北部を震源とする地震が、今後30年の間に70%の確率で発生するといわれており、鴻巣市でも最大で震度5強の揺れが予想されています。

このような災害が発生した際、その被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助の役割分担と相互連携により、災害対応力を高めることが必要です。国は防災基本計画を、県、市は地域防災計画を策定し、それぞれのレベルで防災活動を行っています。

この中郷地区防災計画では、鴻巣市地域防災計画を踏まえ、私たち中郷地区の共助による取組をまとめています。

この計画に基づき平常時から備えを行い、災害発生時に適切な対応ができるよう訓練等事業に取り組み、防災に強いまちづくりを進めていきます。

目次

ページ番号

1	対象地区と計画作成主体	4
	(1) 計画対象地区	
	(2) 計画作成主体	
2	地区の災害リスクについて	5
	(1) ハザードマップの状況	
	(2) 中郷地区の過去の主な災害	
	(3) 中郷地区に予想される災害について	
3	活動内容	6
	(1) 平常時の活動	
	(2) 災害前直前の活動	
	(3) 災害時の活動	
	(4) 避難行動要支援者等への支援	
	(5) 復旧・復興期の活動	
4	地区の防災対策（具体的な対策）	9
	(1) 防災体制	
	(2) 活動体制	
	(3) 地区の連絡網	
	(4) 防災関連施設	
	(5) 防災資機材等	
	(6) 地域版防災マップ	
	(7) 地区防災訓練の実施	
	(8) 資機材，器具等の点検	
	(9) 避難行動要支援者への支援体制の整備	
	(10) 災害時応援協力申し合わせ	

1 対象地区と計画作成主体

(1) 計画対象地区

中郷地区防災計画は以下の地区を対象としています。

対象地区名	世帯数	人口
中郷地区	157世帯	420人

(2) 計画作成主体

団体名	所在	団体の人数
中郷自治会	鴻巣市屈巢地内	
中郷自主防災会	鴻巣市屈巢地内	

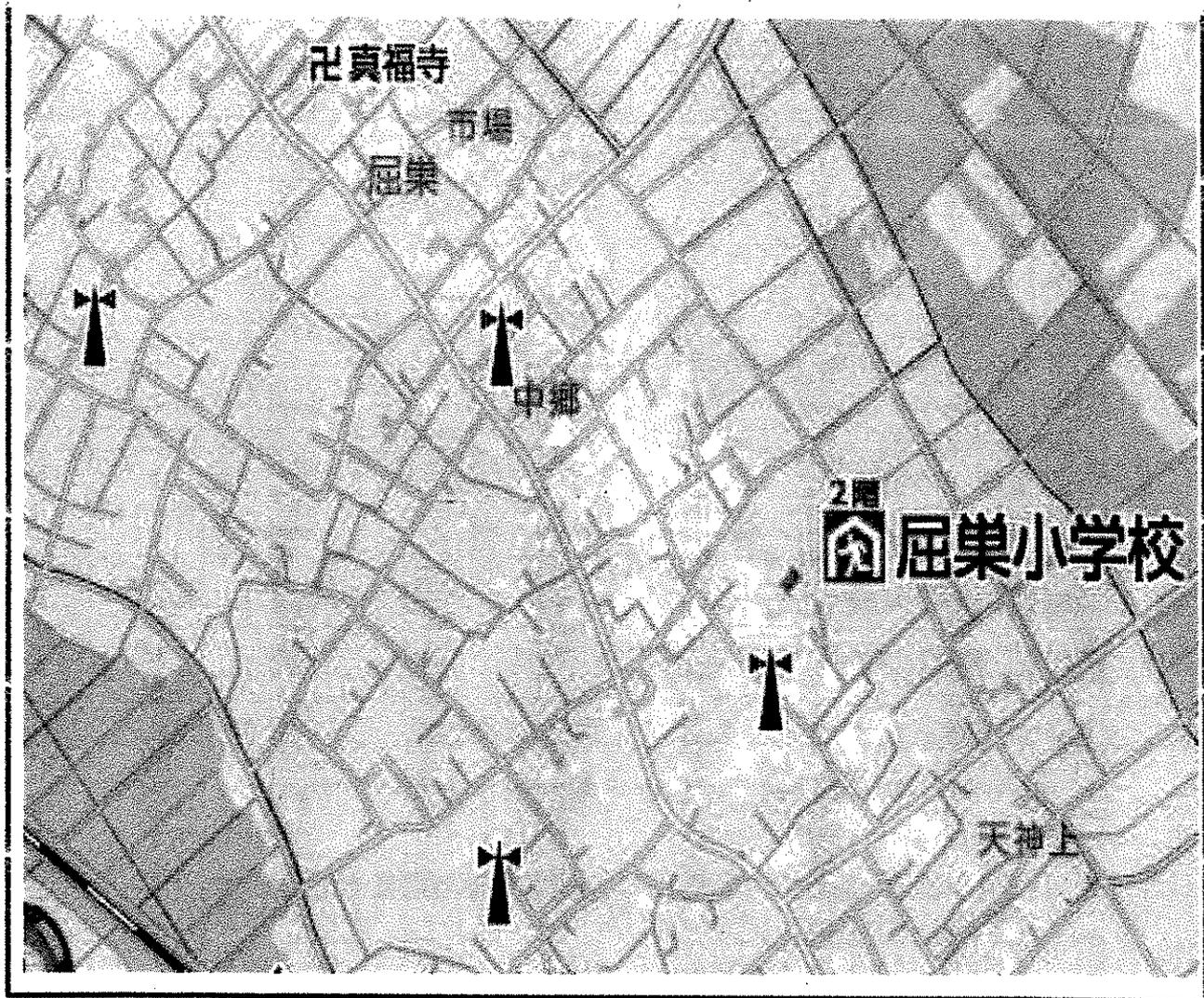
2 中郷地区の災害リスクについて

(1) 鴻巣市ハザードマップの状況

中郷地区のハザードマップ

自分の住む地域のハザードマップを確認しましょう。

浸水想定 最大



(2) 中郷地区の過去の主な災害

発生年	災害名	中郷地区の被害
2011年	東日本大震災	屋根瓦の落下
2014年	豪雪	カーポート、ハウス等の倒壊被害
2019年	台風19号	元荒川の越水、道路の冠水、

(3) 中郷地区に予想される災害

- ・地震による災害
 - ブロック塀、家屋の倒壊
 - 地震による火災
 - 水道の断水
 - 停電
 - ハウスの倒壊
- ・集中豪雨による災害
 - 道路の冠水（道路水路の堺）
 - 河川水路の氾濫
 - 家屋への浸水
 - 農作物への被害
- ・豪雪による災害
 - カーポート、ハウス等の倒壊被害
 - 道路の通行困難

3 活動内容

(1) 平常時の活動

平時から地区で連携し、以下の取り組みを行います。

ア 防災体制の整備

情報収集・伝達ができるよう組織体制の整備を進めます。

イ 防災用物資の整備

年に1回、防災用資機材、応急手当用医薬品等の整備・点検等を行います。

ウ 防災知識の普及

日ごろの備え、災害時の的確な行動等に関する防災知識の普及を行います。

エ 地域コミュニティの醸成

平時から避難行動要支援者を含めた地区内でのコミュニティを醸成しま

す。

オ 防災訓練の実施

災害に備え、年に1回初期消火訓練、避難訓練、救出訓練、炊出訓練等を行います。（秋祭り等自治会行事に合わせ実施）

(2) 災害直前の活動

台風や集中豪雨などの気象災害は事前に予測することが可能です。事前に万全の備えを行い発災時に対応できるよう取り組みます。

ア 防災気象情報の確認

気象庁ホームページ、テレビ放送、ラジオ放送、携帯防災アプリ等を用いて気象情報の確認を行います。

イ 連絡体制の整備

発災時にあわてず連絡がとれるよう、連絡体制の確認を行います。

ウ 状況把握

住民の所在確認等行います。

エ 災害に対する補強

住宅や集合場所の補強を行います。

(3) 災害時の活動

災害時には公助による救助が遅れてしまうことが考えられます。共助の取り組みとして、地区で以下の活動を実施します。

ア 初期消火の実施

火災などの際、消防車等が到着するまで延焼を防ぐため消火活動を行います。

イ 情報の収集・伝達

地区の災害情報を鴻巣市災害対策本部へ報告します。また、鴻巣市災害対策本部からの情報を地区へ伝達します。

ウ 救出・救護の実施及び協力

負傷者や家屋の下敷きになった人を救助し応急手当を行います。

エ 集団避難の実施

避難所まで地区住民を誘導し、安全に避難を行います。

オ 炊き出し及び救助物資の分配に対する協力

食料の供給及び鴻巣市災害対策本部へ必要な食料数の報告を行います。

カ 避難所の運営

避難所で避難所運営会議を立ち上げ避難所の運営に協力します。

(4) 避難行動要支援者等への支援

災害時に大きな被害を受けやすいのは、高齢者や障がい者、子供など、人の助けを必要とする人（避難行動要支援者）です。こうした避難行動要支援者を災害から守るため、みんなで協力しながら支援を行っていきます。

ア 防災環境の点検・改善

目や耳の不自由な人にも、警報や避難情報がきちんと伝えられるか、避難経路等に障害や危険な場所はないかななどを点検し、改善に努めます。

イ 適切な避難誘導

隣近所の助け合いが重要です。一人の避難行動要支援者に複数の避難支援者を決めておきます。

ウ 個別計画の作成

鴻巣市の避難行動要支援者に関する個別計画書の作成に協力します。

(5) 復旧・復興期の活動

災害発生後もとの生活に戻れるよう、市と連携し復旧・復興に努めます。

ア 被災者に対する地区での支援

被災した地区住民のコミュニティ形成し、課題の把握や支援を行います。

イ 鴻巣市との連携

復旧・復興に向け、市と連携し街づくり等を行います。

ウ 協定企業との協力

協定を結んでいる企業の支援を受け復旧・復興に努めます。

4 地区の防災対策（具体的な対策）

(1) 防災体制

組織名称等	地区の状況		
中郷地区	世帯数：157世帯 人口：420人		
1 中郷地区自主 防災会の体制	役員		電話番号
	会長		Tel
	副会長		Tel
	自治会各班長 理事	自治会役員名簿	
2 避難場所等	施設名	管理者	電話番号
①一時避難場所 (地区指定)	中郷集落センター	中郷自治会長	
②避難所	屈巢小学校	鴻巣市	Tel.048-569-0038
			Tel.
			Tel.
3 緊急時の連絡 先	連絡先		電話番号
	鴻巣市役所		Tel.541-1321
	川里支所		Tel.569-1111
	鴻巣消防署川里分署		Tel.569-4119
	鴻巣警察署		Tel.543-0110
	共和駐在所		Tel.569-1539
	ヘリオス会病院		Tel.569-3111
	宮坂病院		Tel.569-0100
	森山歯科医院		Tel.569-2970
4 その他特記事項			

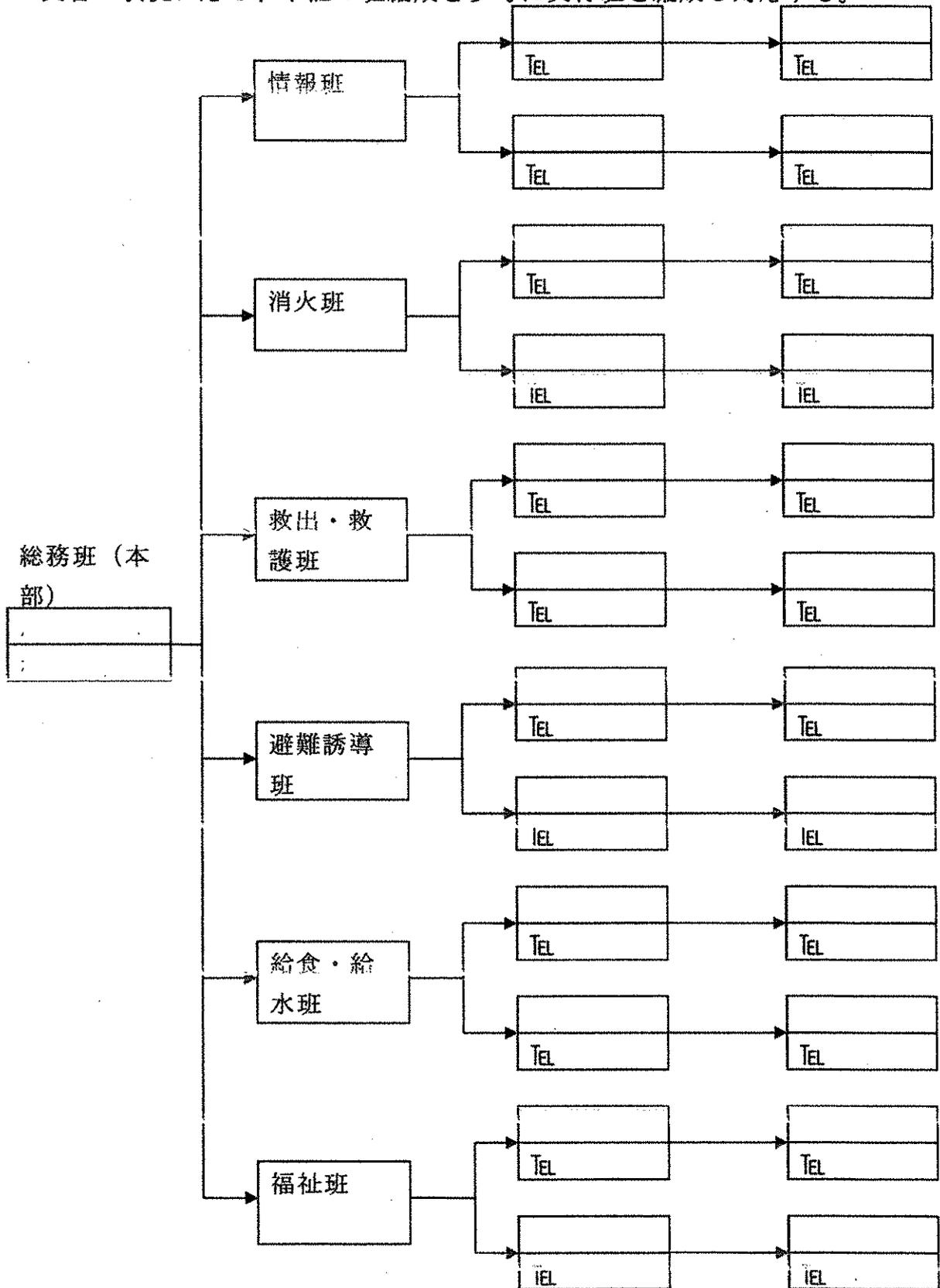
(2) 活動体制

災害の状況に応じ、下記の班編成を参考に実行班を編成し対応する。

班名	平常時の役割	災害時の役割
総務班 (本部)	全体調整 関係機関との事前調整	全体調整 関係機関との調整 被害・避難状況の全体把握
情報班	啓発・広報	公共機関等からの情報収集・伝達
消火班	器具の整備・点検	消火器・バケツリレーなどによる初期消火
救出・救護班	資機材・器具の整備・点検	負傷者の救出・応急手当・救護所への搬送
避難誘導班	避難経路の点検	住民の避難誘導
給食・給水班	器具の整備・点検	炊き出し等の給食・給水活動
福祉班	避難行動要支援者（災害時要援護者）の支援体制の整備	避難行動要支援者（災害時要援護者）への支援

(3) 地区の連絡網

災害の状況に応じ、下記の班編成を参考に実行班を編成し対応する。



(4) 防災関連施設

ア 医療機関

種別	名称	住所	連絡先
救急指定医療機関	ヘリオス会病院	鴻巣市広田 824	048-569-3111
その他の医療機関	宮坂医院	鴻巣市屈巢 3843	048-569-0100
〃	森山歯科医院	鴻巣市屈巢 4183-2	048-569-2970

イ 避難行動要支援者施設

特になし

名称	住所	連絡先	備考

ウ その他の施設

特になし

名称	住所	連絡先	備考

(5) 防災資機材等

中郷自主防災会が保有する防災資機材

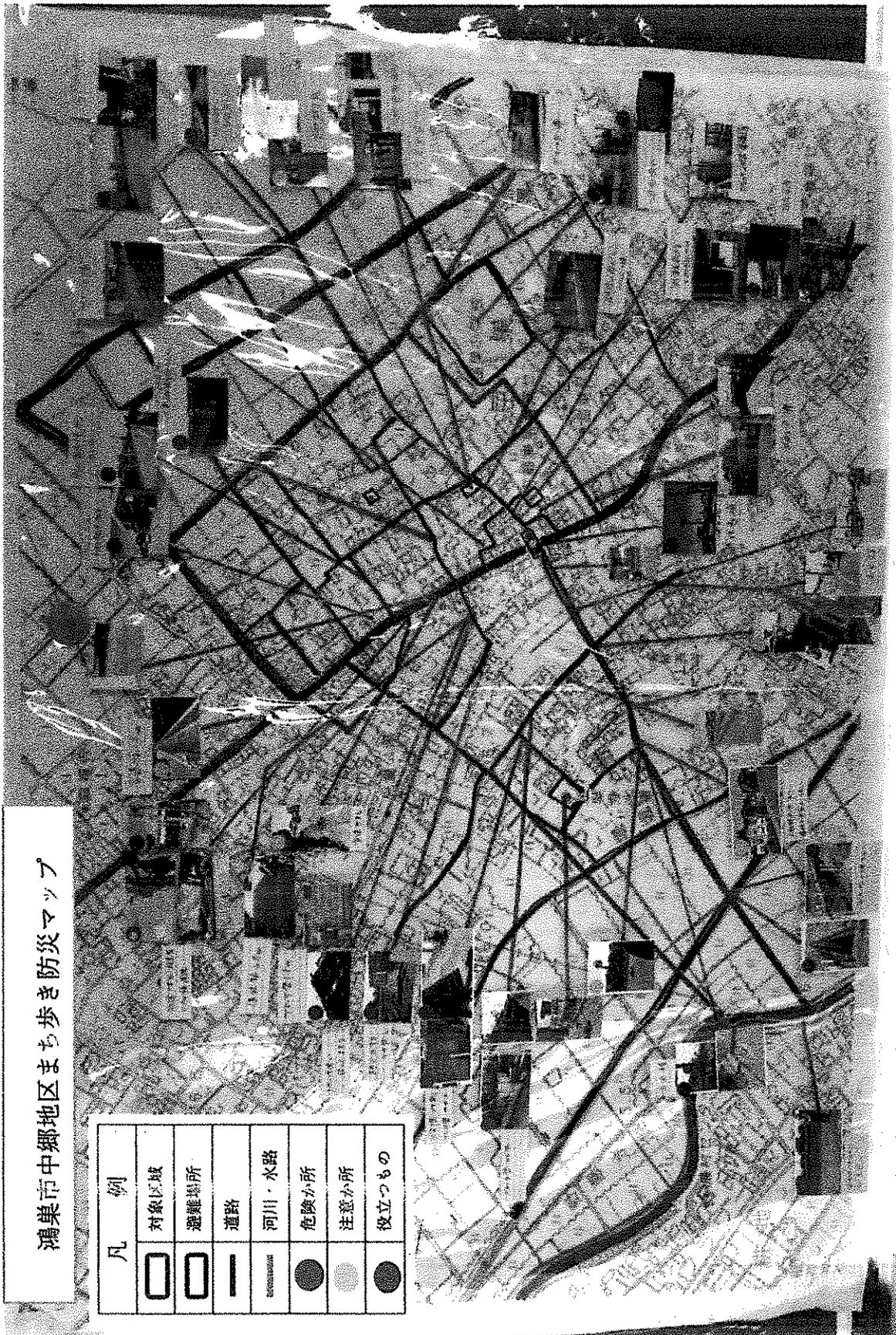
名称	物資名	数量	備考
防災倉庫 (住所) 鴻巣市屈巢 4283 番 地	ヘルメット	20	
	チョッキ	20	
	スコップ	5	
	テント (3.6×2.7)	2	
	リヤカー	1	宅
	薪	30	
	鍋	2	炊き出し用
	竈	2	炊き出し用

(6) 地区防災マップ
別添

ここに作成した地区防災マップを貼りましょう。

鴻巣市中郷地区まち歩き防災マップ

凡 例	
	対象区域
	避難場所
	道路
	河川・水路
	危険か所
	注意か所
	役立つもの



(7) 地区防災訓練の実施

災害発生時に、地区住民が「地区防災計画」に沿って適切な行動ができるよう、市や消防等とも連携しながら、次の訓練を中心とした地区防災訓練を毎年度実施します。

- ア 避難所運営訓練
- イ 情報収集・伝達訓練
- ウ 救出救護訓練
- エ 避難訓練（避難行動要支援者の支援を含む）
- オ 炊き出し訓練
- カ 啓発活動
- キ 初期消火訓練
- ク 通報訓練

訓練の実施後は、訓練結果を検証し次回訓練に反映するなど、定期的に活動内容を見直し、必要があれば「地区防災計画」の見直しを行います。

(8) 資機材、器具等の点検

中郷自主防災会を中心に、資機材、器具等の点検を定期的の実施します。

- ・消火用器具の点検・整備 地区防災訓練前
- ・防災資機材・救出用器具の点検整備 地区防災訓練前
- ・避難経路の点検整備 毎年度
- ・炊事・給水器具の点検整備 地区防災訓練前

(9) 避難行動要支援者への支援体制の整備

中郷自主防災会を中心に、避難行動要支援者の支援体制を整備します。

班名	担当者 (団体名等)	内容	時期（目標）
福祉班	中郷自主防災会	支援体制・方法の検討・整理	2027年度まで
		対象者の把握（市から提供）	2027年度まで
		個別計画の作成完了	2027年度まで
		定期的な個別計画の見直し	毎年度

(10) 災害時応援協力申し合わせ

震災・降雪等が発生した場合、地元業者（貢建興業）と中郷自主防災会・中郷自治会が相互に協力して、その機能お最大限に発揮し、救出、救護、及び除雪活動等を行うとともに被害を最小限に防止することを目的に申し合わせを行っている。（別紙申し合わせ書添付）